



## アートストリート～親子スケッチ＆写真教室を開催



5月14日、アートストリート～親子スケッチ＆写真教室が開催されました。今回「親子スケッチ」に加えて、新たに「写真教室」を開催し、スケッチ部門に40名、写真教室に17名が参加しました。参加者は、青空美術館の作品を楽しみながら、思い思いの作品を完成させていました。5月20日には、南浜館で表彰式が行われ、次の方々が表彰されました。

### 審査結果(敬称略)

【写真】大賞＝川崎実樹(一般)／優秀賞＝安樂朋陽(一般)、川野疏生(枕崎小4年)／審査員奨励賞＝岩崎明広(一般)、小園俊介(一般)／ファミリー賞＝沖園真輝(枕崎小6年)、沖園美穂(一般)／南浜館賞＝園田弘美(一般)、宮本しづか(一般)

【スケッチ】大賞＝川野零旺(鳳凰高2年)／優秀賞＝加治ひなた(立神中2年)、向井結清(枕崎小2年)／審査員奨励賞＝永江真衣子(立神中2年)、上原捺々美(桜山中2年)／ファミリー賞＝下尾惟心(立神小2年)、下尾悠土(長野幼稚園)／南浜館賞＝安樂龍之助(枕崎小5年)、西真由美(一般)



## 災害時の避難所運営について考える



災害図上訓練が5月14日、サン・フレッシュ枕崎で実施されました。訓練には立神地区の消防団員や自主防災会、婦人防火クラブなど約50名が参加しました。

参加者は、県防災アドバイザーの岩船昌起さんの指導のもと、大災害が発生し、同場所を避難所とした場合の避難所運営について見取り図を囲みながら話し合いました。



## 神園高志さんが旭日双光章を受章



神園高志さん(山手町・88)が、高齢者叙勲の旭日双光章を受章しました。5月18日には伝達式が行われ、久木田敏副市長から勲章が伝達されました。

神園さんは、昭和34年5月に枕崎市議会議員に初当選して以来、通算4期16年の長きにわたり市議会議員として活動を続けました。この間、市議会総務委員会副委員長などの要職を歴任し、住民福祉の向上、市勢の発展に尽力されました。

神園さんは「この度の受章は、市のご協力と市民の皆さんのご支援・ご指導の賜物と深く感謝いたしております。今後も市勢発展のために、微力を尽くしてまいりたいと思います」と話していました。



## 力を合わせて咲かせよう「人権の花」



5月22日、枕崎小学校で「人権の花」運動開会式が行われ、鹿児島地方法務局知覧支局長から看板プレートやヒマワリの種、プランターなどの目録が児童代表に手渡されました。

児童代表の馬場透輝くん(6年)は「人権の花を育てることをとおして、人権について意識して学校生活を送っていき、僕の心の中にも人権の花を咲かせたいと思います」とあいさつをしました。

「人権の花」運動は、花を栽培し観察することで、児童の心を豊かにし、人権に対する理解を深めることを目的に全国各地で行われており、本市では3年に1回実施されています。



## 枕崎市が第1回市区町村年金事業功績厚生労働大臣表彰を受賞



本市は、第1回市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰を受賞し、4月22日に東京で表彰式が行われました。

この表彰は、国民年金事業に対する功績が顕著だった市区町村に贈られるもので、今回、全国から3市1村が表彰されました。

本市では、社会保険労務士の資格を持つ国民年金専門職員を配置し、相談体制を充実させており、また年金相談には、原則全て未統合記録の確認を実施しています。これらの取り組みが他の市町村の規範となると評価されました。



▲表彰式の様子



## 「黒島流れ」を忘れない～枕崎市少年の船



枕崎市少年の船が5月21日に行われ、児童生徒や一般参加者など合わせて160名が参加しました。

少年の船は、明治28年に起こった枕崎の海難史上最大の悲劇といわれる「黒島流れ」と懸命に救出に当たった黒島住民の温かさを語り継ごうと、昭和56年に始まりました。

参加者は村営船「みしま」に乗船、黒島沖で洋上慰霊祭を行ったあと、黒島に上陸し、地元小中学生とレクリエーションで交流しました。



## 株式会社深水が県伝統的工芸品の生産者に指定



3月10日、株式会社深水(深水清則社長)が、鹿児島県伝統的工芸品「薩摩深木刃物」の生産者に追加指定されました。枕崎市内の事業所が指定されるのは初めてのこととなります。

同社は、約100年前から鍛冶業を営んでおり、農林業用刃物は大正頃、鯉加工用刃物等については昭和初期頃、独自の火入れの管理温度等を見出し、その技術を継承しています。

深水清充取締役は「伝統的工芸品の生産者として指定を受けることができてうれしいです。鍛冶屋の技術を継承し、昔ながらのものを復刻させ、また技術を生かして新しいものを作っていけたらいいと思います」と話していました。



## 救助の技術を競う～市消防本部救助技術指導会



5月2日、市消防本部で救助技術指導会が開催されました。

塔の間に張られたロープを渡って要救助者を救出するロープブリッジ救出や塔の下にいる要救助者を引き揚げて救出する引揚救助、水平に張ったロープを往復するロープブリッジ渡過の3種目でスピードや正確さ、安全確実性を競いました。

会には本市消防署員13名が参加し、市内保育園園児も見守る中、日頃の訓練の成果を披露しました。